

目 次

I	集団「鶏育種・生産技術」コースの概要	
1.	コースの背景	1
2.	コースの目的	1
II	派遣チームの概要	
1.	派遣目的	2
2.	派遣期間及び派遣国	2
3.	団員構成	2
4.	調査日程	3
5.	主要面会者	5
III	調査報告	
1.	調査T/R	6
2.	タンザニア連合共和国	6
(1)	当該国の概況	6
(2)	調査結果の要約	7
(3)	候補者募集、選考状況	10
(4)	養鶏技術分野の現状と問題点	10
(5)	日本で実施した研修の成果等	14
(6)	アフターケアに対する当該国の要望	15
(7)	「鶏育種・生産技術」コースに対する改善等の提案	15
3.	ボツワナ共和国	17
(1)	当該国の概況	17
(2)	調査結果の要約	17
(3)	候補者募集、選考状況	20
(4)	養鶏技術分野の現状と問題点	20
(5)	日本で実施した研修の成果等	25
(6)	アフターケアに対する当該国の要望	26
(7)	「鶏育種・生産技術」コースに対する改善等の提案	27
IV	今後の技術協力のあり方について	
1.	タンザニア連合共和国	28
2.	ボツワナ共和国	28
V	添付資料	29

Ⅰ 集団「鶏育種・生産技術」コースの概要

1. コースの背景

開発途上国においては、国民の栄養改善・体力増進のための動物性蛋白質の十分な供給を可能にするとともに、農家の経済水準の向上と安定を図る諸施策の一つとして養鶏産業の発展・振興を目指している。

しかしながら、これらの諸国の多くは、程度の差はあるものの飼養管理・衛生・飼料・育種等の養鶏技術及び流通や養鶏経営などその他の技術に関連づけた総合的な養鶏技術のレベル向上のために必要な人材の確保が重要な課題となっている。

昭和40年より「養鶏」コースとして始まり、改編後も12回を数える本コースは非常に息の長いものと言えるが、以上のような背景から、依然として各国からの要望は多い。

2. コースの目的

このため、集団「鶏育種・生産技術」コースは、日本の経験と蓄積に基づいた優れたこれらの養鶏技術を習得させ、開発途上国の養鶏産業の発展に寄与することを目的としている。

II 派遣チームの概要

1. 派遣目的

集団研修「鶏育種・生産技術」コースの帰国研修員、研修員の所属先及び関係機関等への訪問により、

- (1) 当該分野の技術水準の現状把握
- (2) 帰国研修員の実態と本邦研修の評価の把握
- (3) 当該分野の今後の研修に対するニーズの把握

を行うことによって、当該研修コースの改善に寄与することを目的とする。

2. 派遣期間及び派遣国

最近の傾向としてはアフリカ各国からの要望が増加しているが、これら諸国の養鶏産業に関する情報は非常に少ない。そのため、今回はタンザニア、ボツワナを調査対象国とした。

平成12年11月5日～11月18日（14日間）

タンザニア 11月6日～11月10日（5日間）

ボツワナ 11月13日～11月16日（4日間）

（南アフリカ共和国 11月17日）

3. 団員構成

団長（総括）	末國 富雄	家畜改良センター	岡崎牧場	業務第一課長
技術指導	安養寺 康	農林水産省	畜産局	畜政課 国際経済係長
研修計画	松井 禎子	国際協力事業団	二本松青年海外協力隊	訓練所職員

4. 調査日程

	月日	曜	行 程	宿泊地
1	11/5	日	11:20 東京発 (NH201)	機中
2	11/6	月	12:40 ダルエス・サラーム着 (BA2069) 15:00 JICA タンザニア事務所表敬および打合せ (青木所長、洲崎所員)	ダルエス・サラーム
3	11/7	火	9:50 農業・共同組合省 畜産部 表敬 Mr. Morung L. S. (Assistant Director) Mr. Micheal Misabo (Logistic Officer, Training Dept.) 11:25 家畜疾病研究所 Dr. A. M. Kapange (Assistant Director) Dr. Halifa Mussa Msami (Pathologist) 14:00 大統領府人事管理局 Mrs. Selina M. Lyimo (Assistant Director) 15:40 小規模養鶏農家訪問 (4戸)	
4	11/8	水	9:00 国家統計局 Mr. Ali Athmani (Director of Economics) 10:00 Municipal 普及事務所 (Shaaban Robert Veterinary Clinic) Mr. Seru A. Manento (Agr. & Livestock Development Officer) Dr. Sarinbo A. P. (Veterinary Officer) Mrs. Edna Macha (Agr. & Livestock Extension Officer) Mr. Assenga S. P. (Agr. & Livestock Development Officer) 11:10 ILALA 区役所 Mr. John Lubuva (Director for ILALA Municipal) 13:45 大型養鶏場 (Pollo Italia (Tanzania) Ltd.) Mr. Pietro Stella (Asst. General Manager)	
5	11/9	木	9:45 小規模工業組合 (養鶏機材の生産現場) Mr. Salum Mbiky (Chairman, DASICO) DASICO = Dar Es Salaam Small Industry Company Mr. Andrew S. Kachima (Vice Chairman, DASICO) Mr. Yahya Geluka (General Secretary, DASICO) Mr. Mohamed Kitemba (Assistant Board Manager, DASICO) 11:15 TARAZA 市場 (養鶏機材の販売現場) 14:30 帰国研修員同窓会 (於: JICA 事務所) Mr. Anthony N. Bahati (同窓会会長) 15:30 帰国研修員との面談 (於: JICA 事務所) 帰国研修員3名 (別紙) 18:30 帰国研修員および関係者との懇談	
6	11/10	金	9:40 大規模養鶏場、食鶏処理場 (インターチック株式会社) Mr. N. R. Nambiar (Managing Director, InterChick Co., Ltd.) Dr. Ralph F. S. Pinto (Director for Operations) Mr. P. V. Sasankan (Director for Technical) 14:30 日本国大使館表敬および調査結果報告 江川 明夫 公使 安居 信之 専門調査官 15:30 JICA タンザニア事務所調査結果報告および資料整理 (洲崎所員)	
7	11/11	土	9:35 ダルエス・サラーム発 (TC767) ヨハネスブルグ着12:05	サントン
8	11/12	日	10:40 ヨハネスブルグ発 (BP208) ハボローネ着11:40	ハボローネ

	月日	曜	行 程	宿泊地
9	11/13	月	8 : 30 JICA ボツワナ駐在員事務所表敬および打合せ 9 : 00 農業省表敬 家畜衛生・生産部 (Dept. of Animal Health Production) Mr. James Masokwane (Chief Scientific Officer) Mr. Jahn Moreki (Head of Poultry Production Section) Mr. Emmanuel Otsogile (Agricultural Officer for Training) Mr. Benjamin Kgabanyane (Officer, Poultry Production Sect.) 11 : 40 家畜衛生研究所 Dr. William Amanfu (Principal Scientific Officer) 14 : 30 家畜衛生・生産部 ハボローネ普及事務所 Mrs. Gertrude Kelebemang (Scientific Officer) 16 : 00 大型養鶏場 DIKOKO TSA BOTWANA (Chicken for BOTWANA) Mr. Francis Munyimbili (Farm Manager)	ハボローネ
10	11/14	火	10 : 15 家畜衛生・生産部 ハボローネ普及事務所 Dr. Letsebe Moobmotsi (Senior Veterinary Officer) Mr. Lekamotse Gobotswang (Senior Technical Officer) 11 : 15 モレポローレ郡組合マーケット見学 11 : 45 小規模養鶏農家訪問 (2戸) 16 : 00 政府刊行物 (統計資料) 販売所	
11	11/15	水	9 : 00 農業省 家畜衛生・生産部 再訪 Mr. Jahn Moreki (Head of Poultry Production Section) 11 : 00 政府刊行物 (統計資料) 販売所 再訪 18 : 00 帰国研修員および関係者との懇談	
12	11/16	木	9 : 05 孵化場訪問 (National Chicks (Botswana) Ltd.) Mr. Rogue Isemonger (General Manager) 10 : 00 採卵養鶏場 訪問 (孵卵場、初生雛選別、集卵、検査、Packing 等) Mr. G. A. Smith (General Manager, Derek Berink Holdings Ltd.) Mr. Mahavir (Poultry Manager, Motwana East Ltd.) 12 : 30 JICA ボツワナ駐在員事務所調査結果報告および資料整理 17 : 00 ハボローネ発 (BP201) ヨハネスブルグ着18 : 00	プレトリア
13	11/17	金	9 : 00 JICA 南アフリカ事務所表敬および調査結果報告 (高橋所長、今村所員、ラーヘッド調査員) 14 : 15 ヨハネスブルグ発 (SQ405)	機中
14	11/18	土	6 : 20 シンガポール着 8 : 35 シンガポール発 (JL712) 15 : 50 東京着	

5. 主要面会者（帰国研修員を除く）

1) タンザニア

（タンザニア側）

農業・協同組合省 畜産局次長

Mr. Morungu L. S.

大統領府人事管理局 Civil Service 部次長

Mrs. Selina M. Lyimo

国家統計局 経済統計部長

Mr. Ali Athmani

ILALA 区長

Mr. John Lubuva

（日本側）

在タンザニア日本国大使館

江川 明夫 公使

安居 信之 専門調査官

JICA タンザニア事務所

所長 青木 澄夫

所員 洲崎 毅浩

2) ボツワナ

（ボツワナ側）

農業省 家畜衛生・生産部長

Mr. James Masokwane

家畜衛生研究所 家畜疾病予防部長

Dr. William Amanfu

農業省 家畜衛生・生産部 モレポローレ郡普及事務所長

Dr. Letsebe Moobmotsi

（日本側）

JICA ボツワナ駐在員事務所

所長 三浦 敏

3) 南アフリカ共和国

（日本側）

JICA 南アフリカ共和国事務所

所長 高橋 嘉行

所員 今村 嘉宏

広域企画調査員

ラーヘッド 和美